



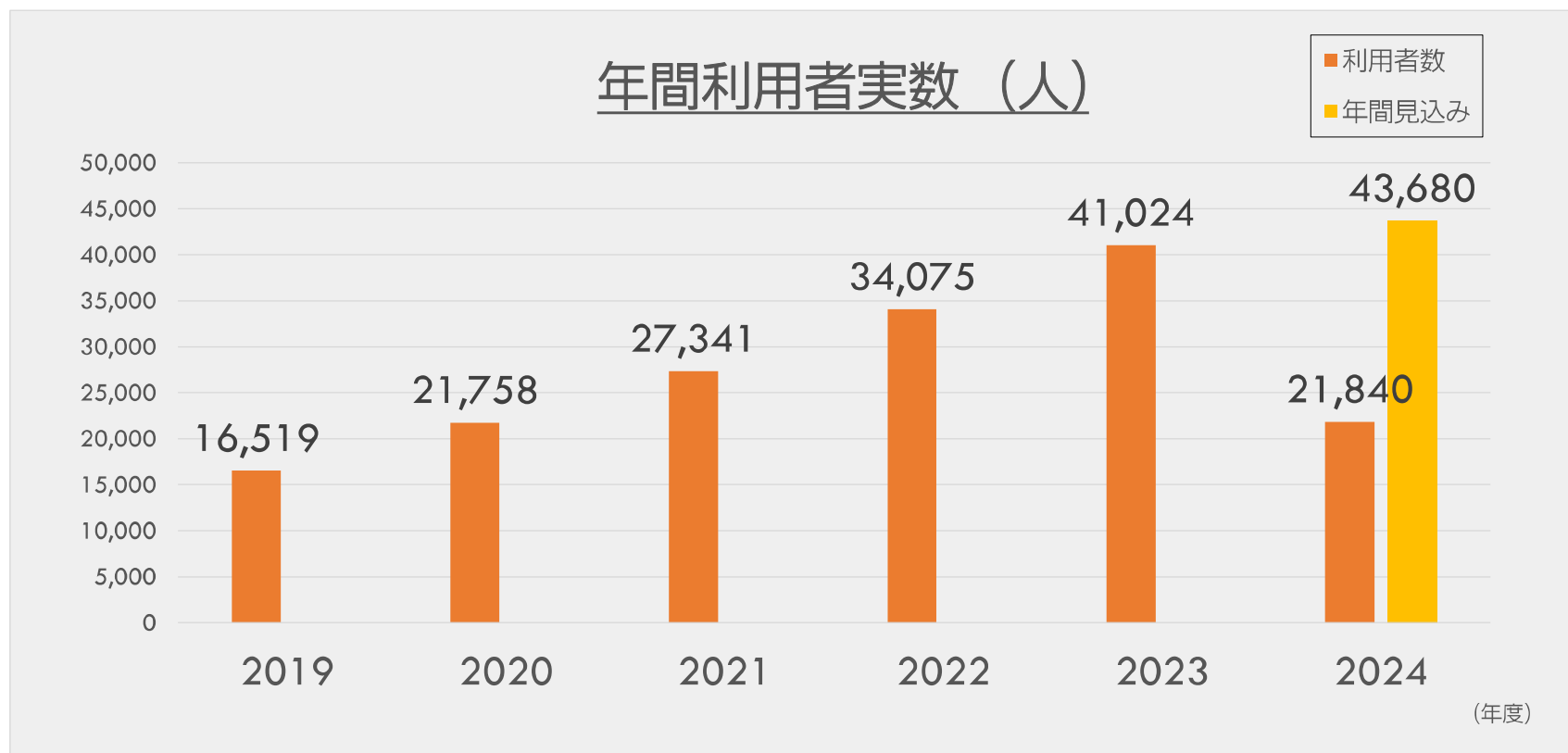
第1回尼崎市ユースワーク推進部会 ～令和5年度の取り組み及び令和6年度の運営について～

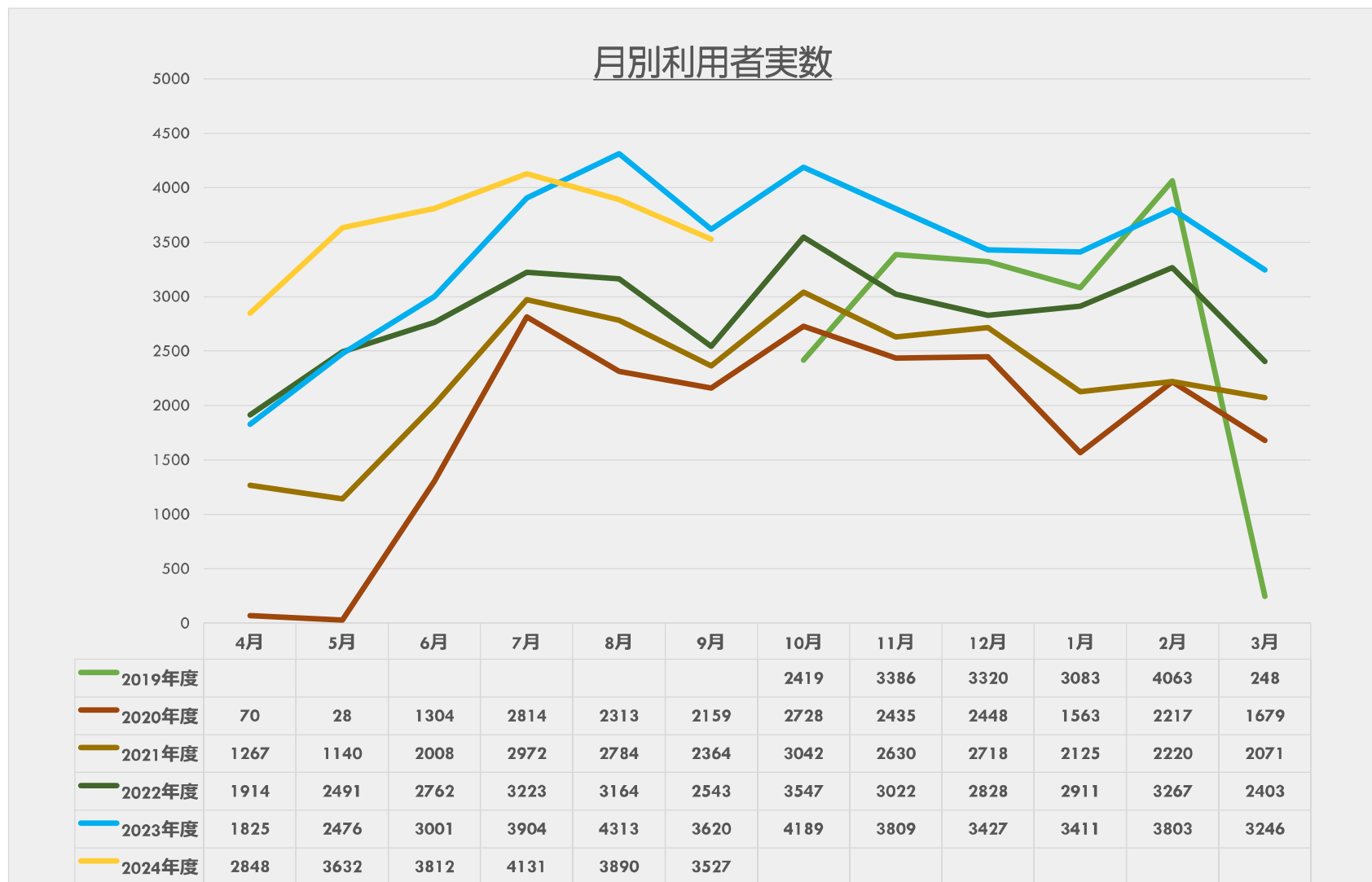


尼崎市立ユース交流センターは、青少年一人ひとりが
成長と自己実現ができる居場所を目指しています。

尼崎ユースコンソーシアム
Amagasaki Youth Consortium.

年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
利用者数	16,519	21,758	27,341	34,075	41,024	21,840

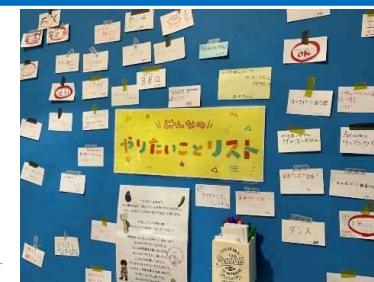




1. 青少年の居場所づくり事業

様々なニーズに応じていくために、オープンラウンジにゲームコーナーやPCタブレットの設置、電子ドラムなどの音楽スペースの設置を行った。また、様々なイベントを実施し、スタッフや中高生世代同士での交流を図れるよう工夫を行った。意見回収箱の設置ややりたいことリストなどを行い、利用者の声を拾い上げる工夫をした。

実施月	主なイベント	イベント数	参加人数	実施月	主なイベント	イベント数	参加人数
4月	ミニバレーボール 好きな物プレゼン	10本	111人	10月	ミニ運動会 ボードゲーム	12本	178人
5月	ボール遊び LGBTQイベント	8本	60人	11月	スタディイベント Sports day	11本	92人
6月	Sports day アコースティック	10本	97人	12月	イラストルーム 大掃除	10本	132人
7月	本気で色塗り 花火	11本	145人	1月	書初め アマゾンに行こう	12本	161人
8月	バスケ大会 UVレジン	11本	97人	2月	バレンタイン ヒス構文	11本	103人
9月	イラストルーム お花見	11本	86人	3月	LGBTQイベント 卒業パーティー	12本	217人
上半期 合計	-	72本	596人	下半期 合計	-	68本	883人



- ◆ 定例イベントが定着化していく中で、利用者からやりたいことを聞いてイベントを実施していった。運動系や音楽系のイベントのニーズが高い。
- ◆ ユース交流センター以外でも、居場所の重要性を伝えるべく、地域のイベントなどにスタッフが参加するなども実施した。

1. ユースワーカー研修事業

地域においてユースワークの視点で青少年への支援を行うユースワーカーを養成する実践的な講座を実施した。実施については、全国ユースワーカー協議会をお招きし、2月17日（土）/2月18日（日）の日程で開催した。17名の参加者が受講した。また、各地域課と連携して全地区でも開催した。（大庄：11月14日9名、武庫地区：12月13日5名、中央地区：9月16日11名、立花地区：7月22日8名、小田地区：9月3日8名、園田地区：10月29日12名）

<感想>

- ・ユースワークで必要になるスキルや考え方が日常生活においても大きく役立つことがある物ばかりで、今後の自分の表現においても活用的だなと思いました。
- ・ユースワークという仕事の奥深さにとてもワクワクしました。
- ・ユースワークは、若者に寄り添い、若者と共に作り上げていくもの。正解は無いことも多いが共に成長したり、気づいたりできる。



2. ユースカウンスル事業&その他

若者の声を市の施策に反映することを目的としたユースカウンスル事業を行い8月に市長・副市長等への発表を行った。様々な課題解決を目的としたプロジェクトも実施している。次期の募集も実施した。（19名参加）セクシャリティ教育等を含めたユースワークの推進にも取り組んだ

【テーマ例】・ヤングケアラー支援 ・奨学金制度 ・不登校支援

- ◆ユースワーカーの養成研修は遠方での参加も考慮し、2日間の連続開催に戻して実施した。一方で各地区での研修会も実施し、2年目となり、ユースワークや若者の居場所について知ってもらう機会を設けた。ユースカウンスル事業も8月に市役所職員向けにプレゼンを行った。今後も引き続き若者が社会に対して声を上げていく活動を増やしていきたい。



1. 青少年によるイベント企画事業

青少年で構成する実行委員会を組織し、ユースセンター全体に関する運営に取り組んだ。（運営メンバー6名） 中高生の「やりたいをやるう」というキャッチコピーのもと、一人ひとりの自己実現に向けた取り組みを実施した。

プロジェクト	内容
新カードバトル大会	中高生の利用者から自身が作ったカードゲームの大会を開催したいとの声から実行委員会を立ち上げ、準備から当日運営までを実施した。（4月6日11名参加）
トークイベント	「人との関わり、ジェンダー」を軸に、みんなの価値観や人との関わり方について意見交換するイベントを実施した。（7月22日6名参加）
Liveイベント	音楽スタジオを利用している大学生の利用者から音楽ライブの提案を受け、一緒に企画し、実施した。（7月28日38名参加）
芋人ライブ	焼き芋を食べながらライブをしたいとイベントの発案があった。ホットプレートを用いて焼き芋をつくり、自由に歌を歌うイベントを実施した。（11月28日8名参加）
ユースカラオケ大会	頻繁に利用する中学生グループ企画で、みんなでカラオケをしながら交流するイベントを実施した。（12月28日34名参加）
ユーススマブラ大会	頻繁に利用する中学生グループ企画で、みんなでE-sportsをしながら交流するイベントを実施した。（1月28日30名参加）
ユース親睦会	高校生からの企画で、卒業を前にもう一度交流を目的としたイベントを実施した。（2月15日9名参加）
ワンワントークショー	高校生が企画して、保護犬に関する啓発を目的としたイベントを実施した。（3月3日98名参加）

◆ユース交流センターの運営を担う、ユース実行委員会の活動を行った。（6名参加）イベントと広報と居場所の3チームに分けて、役割を設定し、運営を実施した。

◆中高生が「やりたい」と思うものをプロジェクトにし、イベント企画を行った。全部で8つのプロジェクトが生まれ、「やりたいをやるう」というキャッチコピーをもとに、自己実現と交流をテーマに企画を行った。



1. 青少年向け体験型事業

青少年に向けて、テーマの講座や催し等を実施した。

講座名	開催月	開催数	参加人数（合計）
ギター講座	4月～3月	24回	52人
学習相談タイム	1月～3月	3回	20人

- ◆利用者の声を聴きながら、2種類の講座を開催した。昨年度から実施しているギター講座は定着しいてきており、勉強の二ーズに合わせて学習相談講座も実施した。
- ◆次年度は講座のやり方や開催期間などにも考慮し、多種多様な取り組みを開催し、一人ひとりに合わせた体験を深める取り組みを実施していきたい。



1. A Youth Fes ここで創る、ここで残す、1つのアルバム

青少年の交流を目的として、9月17日にプラザ全体で大規模のお祭りを開催した。今年は文化祭の時期とずらして9月開催とした。

内容は中高生が起案し、総勢278名の参加があった。

【内容】

- ・音楽発表会
- ・サバゲー
- ・芸術展
- ・カフェ
- ・屋台 など



- ◆今年度は7月から実行委員会を立ち上げ、メンバーを募集し、内容等を1から一緒に考えて実施した。
- ◆中高生が主体となって活動をしてくれたが、実行委員会に入るにはハードルが高く、何かやってみたいという層も存在しており、来年度は様々な声を拾い、実現できる体制を考えていきたい。

1. ユース交流センターサテライト事業

地域の公共施設の貸館などを活用し、ユース交流センターのプログラムに参加できない層に対して、イベントなどを実施した。

地区名	主なイベント	開催月	実施数	参加人数（合計）
武庫地区	武庫地域課と連携して武庫之荘総合高校での放課後カフェを実施した。（探究居場所カフェ）	4月～3月	9回	861人
小田地区	小田地域課と連携して居場所運営と様々なイベントを実施した（ヨガ体験/流しそうめん/アウトドア）	4月～3月	12回	571人
園田地区	ポノポノプレイスと連携して双星高校での居場所カフェを実施した。	4月～3月	18回	1,312人
立花地区	立花地域課と連携して居場所運営とイベントを実施した。（メイク/カフェ/クリスマス）	4月～3月	6回	68人
中央地区	中央地域課と連携して小学生の居場所運営を行った。（ボードゲーム/体育館で遊ぼう/クリスマス工作）	4月～3月	7回	144人
大庄地区	大庄地域課と連携してイベント企画立案を実施した。	4月～3月	12回	55人



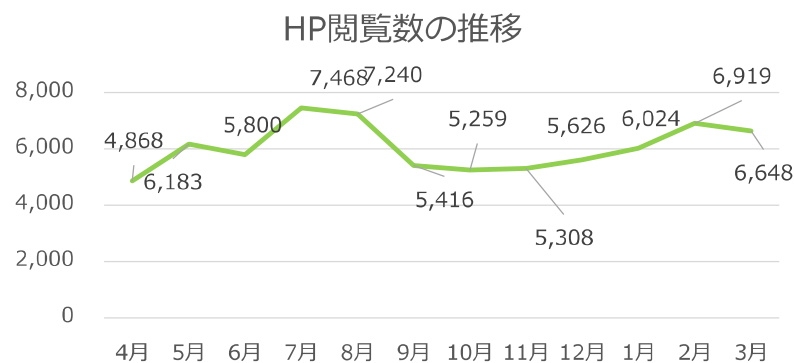
- ◆今年度は6地区でイベントや居場所の運営を行った。青少年の居場所を身近に創ることを目的に、地域課と一緒に取り組んだ。小田地区や立花地区では、施設内に青少年向けの常設の場所を設置してくれた。今後も地域内でユースワークの視点を広め、地域ごとに研修などを実施していきたい。
- ◆利用者としては、ユース交流センターに来ていない層が参加しており、後日センターに来てくれることや、センターに来ている利用者がサテライトの居場所に通うなどの機会が増えてきており、身近に居場所があることの効果が出てきている。

1. 情報収集・発信事業

利用促進や情報公開としてホームページを開設するだけでなく、中高生世代が多く利用しているSNSを作成し、定期的に情報発信を行った。また、チラシやパンフレットを作成し、市内の公共施設等に配布を行い、利用促進を行った。

○SNS登録状況

年度	X (旧Twitter)	インスタグラム	Facebook	LINE@
2019年度	274フォロワー	152フォロワー	183フォロワー (169いいね)	227 (友達)
2020年度	408フォロワー	284フォロワー	298フォロワー (253いいね)	447 (友達)
2021年度	534フォロワー	519フォロワー	473フォロワー (410いいね)	520 (友達)
2022年度	650フォロワー	720フォロワー	598フォロワー (516いいね)	624 (友達)
2023年度	801フォロワー	972フォロワー	726フォロワー (605いいね)	699 (友達)



※HPを閲覧する前に見ていたページのURL (リファラ) は、「検索エンジン (Googleやヤフー等)」「尼崎市のHP」「インスタグラム」「Twitter」「Facebook」の順になっており、上記のSNSの広報や尼崎市と連携した広報が実施できていると考える。

- ◆今年度は利用者の意見もありInstagramに力をいれて広報を実施した。イベント内容や施設情報などを週3～5日程度で発信を行い、登録者数を少しずつ増やしていった。今後も定期的に発信を行いつつ、利用者同士で紹介してもらえるように工夫しながら広報を実施していきたい。
- ◆また発信内容については、利用している高校生にも意見を求め、新規利用者獲得に向けて取り組んだ。

1. 利用者アンケート

2023年12月1日～28日の期間でアンケートを実施した。アンケートについては、以下の利用者に受付にて用紙の配布を行い、協力をお願いした。

・あまぽーと利用者 ・ アマブラリ図書コーナー利用者 ・ アマブラリ学習室利用者 ・ 貸し会議室等利用者

合計398名の回答を得た。（昨年度419名）

詳細については別紙「アンケート結果報告書」を参照。

赤：すぐに改善する内容

青：今後改善を検討したい内容

利用者の声

2階の机とイスをもう少し増やしてほしいです。

外の子供たちの声が大きくて、自習室まで聞こえている。

学習室の横の休憩スペースのイスと机を増やしてほしい

スケボーの音がうるさい

1人になれる、端っこのような場所がほしい

利用者の声

学習機の端っ子の所が(かど)がめくれているので、カバーをつけてほしいです

switchのゲーム追加（スカイゲーム・ぷよと2など）

ビリヤードの台を直してほしい

受付には誰かがいた方がいいと思う

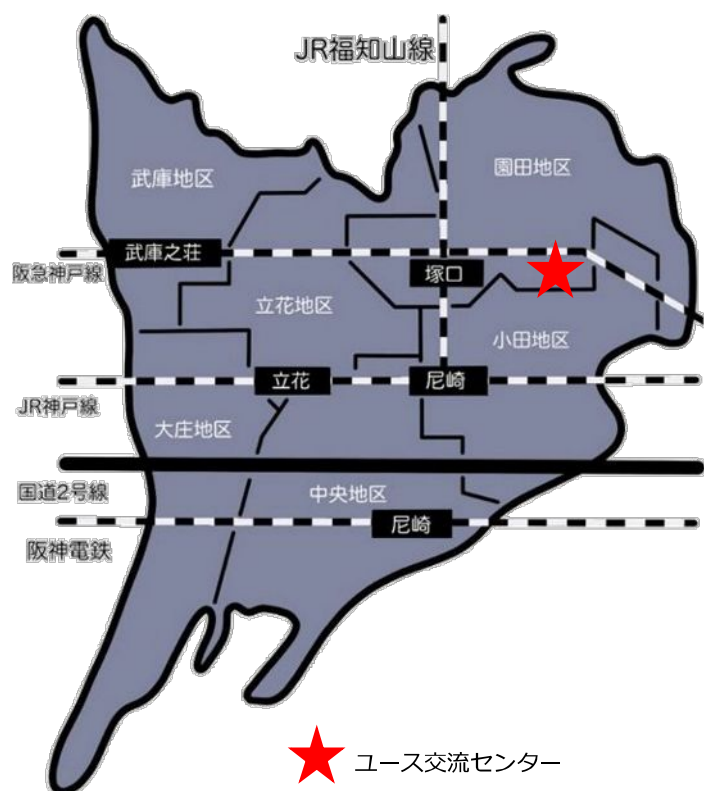
- ◆アマブラリの机とイスの増加や外で遊んでいる利用者の声についての要望があった。また、ゲームやビリヤードなどの修繕や種類を増やしてほしいという声も出てきており、利用者の声を聴きながら改善していきたい。
- ◆依然として、利用者は園田地区の利用者が多く、友人の紹介で来所することが多い。このような状況を踏まえつつ、各地区での取り組みを強化していきたい。

1. 達成目標

	目標	実績 ※カッコ昨年実績	課題や今後の方向性
来館者数	84,000人	78,472人 (70,125人)	7万5千人を突破したが、目標も達成することができなかった。今後は利用者の数を増やすだけでなく、利用者の満足度が落ちないようにも気を付けていきたい。
青少年の 来館者数	70.0%	中高生の利用 63.0% (66.1%)	小学生や大学生の利用も増えてきており、目標を達成することは出来なかった。
青少年グループ 登録数	92団体	70団体 (76団体)	全体的な利用団体数は減少傾向にある。再度周知等は積極的にしていきたい。
施設利用率	62.9%	49.24% (52.43%)	利用団体が減少したこともあり、利用率自体も減少傾向にあった。青少年以外の市民にも広く親しまれる施設を目指したい。
青少年で構成される実行 委員会数	15名	6名 (11名)	今年度は広報や居場所、イベントなど役割を決めて運営を行った。他の利用者への巻き込みに課題もあり運営の仕方なども再度検討していきたい。
市内学校 との連携	小学校41校 中学校17校 高校13校 との連携	高校を中心に 利用案内などを実施	高校訪問などを実施し、SSWや行政機関含め連携が出来つつある。今後は近隣の中学校などにも積極的にアプローチしていきたい。

ユース交流センターサテライト事業

「身近にユースセンターがある生活」を目指し、若者の活動拠点の整備を尼崎市地域課職員および地域団体の方と一緒に実施した。



園田地区：双星高校での居場所カフェ

立花地区：たちばなユーススペースの運営サポート

武庫市区：武庫之荘総合高校での居場所カフェ

小田地区：ODAイベント

中央地区：たけやキッズパーク

大庄地区：大庄ユーススペース

▶若者がやりたいことをまちで実施

若者が自分たちでやりたいことを実現しており、メディア等に紹介されるケースも増えてきている。今年度はデンマークの政治活動リーダーと意見交換するなどの機会も設けている。

【今年度の提案内容】

- ・メイクをつかった困難を抱えたこどもたちの支援
- ・精神疾患をサポートする人のサポート
- ・困難な家庭の大学授業料の補助
- ・若者の海外研修

【視察対応】

- ・こども家庭庁
- ・愛知県豊橋市
- ・埼玉県 など
- ・奈良県三宅町
- ・奈良県川西町



ユースワーク研修事業

地域においてユースワークの視点で青少年への支援を行うユースワーカーを養成する実践的な講座を実施した。



ユースワーカー養成講習会
in 尼崎市立ユース交流センター

参加費無料

DAY1 2022 6/26 9:30-16:50
DAY2 2022 7/3 9:30-16:50

グループワークを通して、若者に関わる心構えを学ぶ
参加者とふりかえりながら、若者への関わり方が学べる！

若者がコミュニティの担い手になっていく過程を支えるスタッフ「ユースワーカー」を育てるプログラム。
ユースワークの概論、若者に関わる上で必要になる自己理解など、ユースワーカーとしての基礎を2日間で学びます。

こんな人にオススメ

- 子どもと関わりたい大学生
- 教育などに興味がある人
- 若者に寄り添いたい人

研修の流れ

『ユースワーク』は、若者支援の方法です。
ありふれた活動（スポーツ・音楽・イベント・遊び etc.）を手段として、
若者の主体的な参加を促す教育活動です。

この研修は「ユースワーカー協議会」の協力のもと運営・実施いたします。

研修の流れ

DAY1 6/26 SUN

- セッション1 若者を支える仕事
- セッション2 ユースワーカーとしての自己理解
- セッション3 ユースワークの価値を知る

DAY2 7/3 SUN

- セッション4 ユースワーカーに求められるスキル1
～コミュニケーションとは～
- セッション5 ユースワーカーに求められるスキル2
～グループプロセスを知る～
- セッション6 事例検討と実践の演習

申し込み

お申し込みはこちらの
フォームから

新型コロナウイルス感染症対策

この講習会は、以下の感染拡大防止策を講じた上で実施しています。

- 受付時に健康調査を行います。
- 発熱や風邪の症状がある場合は、参加をお断りします。
- マスク着用の上ご参加ください。
- 手指消毒や手洗いをお願いします。
- 密集、密接、密閉にならないよう活動します。
- スタッフは、検温や体調管理に留意して活動します。

また、マスクやフェイスシールドの着用の上、参加します。

場所 尼崎市立ユース交流センター
日程 2022年6月26日 9:30～16:50
2022年7月 3日 9:30～16:50
参加費 15名程度
定員 筆記用具
持ち物 尼崎市立ユース交流センター
尼崎市若王寺2丁目18番4号
あまがきき・ひとあきプラザ内
06-6423-7788
info@youthconso.jp



ユースワーカー養成研修とは別に各地区でユースワーク説明会（勉強会）を開催した。また夏の教員研修の一環として、ユースワークの取り組みについて教員向けに研修を実施しました。

地域連携

2024年8月に、認定NPO法人Learning for Allが阪神尼崎地区に新しいユースセンターHyggeを開所した。



北部と南部でユースセンターができたことで、利用者が双方に行き来するなどが生まれている。今後連携しながら、相乗効果を生み出していきたい。

- ・ ユースワークの推進に向け、
市民団体や学校、保護者に対しての働きかけについて
- ・ 困難を抱えた若者たちの生きにくさに対して、
ユースワークやユースセンターができること